



■プロコン出展作品で遊ぼう

▲すなケッチ



▲家族ぐるみ



■ロボコン参加ロボットを動かそう ▲たこのハっちゃん



▲Shall we jump?



▲ディーゼルエンジンを動かそう



▲ロープワークを体験しよう



▲百周年記念館の見学



▲近藤真琴記念碑前で記念写真

日本船主協会の資料

海の上のプロフェッショナル ～世界に広がる夢の職場～

一部を紹介します。

船員の暮らし



一度乗船すれば数ヶ月間家を離れ、航海を続ける船員たち。暮らしは乗船中、そして船を下りてからの長期休暇中、どのような暮らしをしているのでしょうか、実際に船暮らしぶりについて随時特集しました。みなさんがこれまで抱いていた船員のイメージが変わるかもしれません。

Q1 海外での仕事やプライベートなどを教えてください。

Q1 船員としての仕事やプライベートなどを教えてください。

A 船員としての仕事は、主に船の運行管理や乗客のサービスなどです。プライベートは、船中でのんびり過ごすことや、休暇期間に家族と過ごすことです。

Q2 船員になるにはどうしたらいいですか？

A 船員になるには、まず船主協会や船員会に相談することです。その後、船員学校で必要な知識と技術を学び、船員免許を取得する必要があります。

日本海事広報協会の資料

3時間目 船の豆知識

知っているようで、じつは意外と知らない船のこと。船の見方がちょっぴりわかる。目からうろこの豆知識をしょうかいしよう。

船の上への第一歩！ 基本的な船の豆知識

船の世界には、国や船種の違いによって、船の見え方が異なります。その見方を、船の上への第一歩として、基本的な船の見方、船のマークの読み方を紹介します。

① 船の大きさを表す「トン数」って？

トン数は船の大きさや重さを表す単位です。船の大きさや重さは、トン数で表されます。トン数は、船の大きさや重さを表す単位です。トン数は、船の大きさや重さを表す単位です。

② 船の速さを表す「ノット」って？

ノットは、船の速さを表す単位です。ノットは、船の速さを表す単位です。ノットは、船の速さを表す単位です。

③ 船体に描かれたマークを解読しよう

船体に描かれたマークは、船の種類や国を識別するためのものです。船体のマークを解読することで、船の種類や国を知ることができます。

④ 船の大切な通信方法、国際信号旗

船の大切な通信方法として、国際信号旗があります。国際信号旗は、船と船の間で通信するための重要な手段です。

(財)日本海事広報協会 日本海事広報協会ホームページ <http://www.kajip.or.jp>

— 24 —

4. 参加者募集のポスターなど

①、②活動 募集

募集の為にポスター・リーフレット



③活動 募集

今年の活動に参加した子供達に招待状を送付しました。

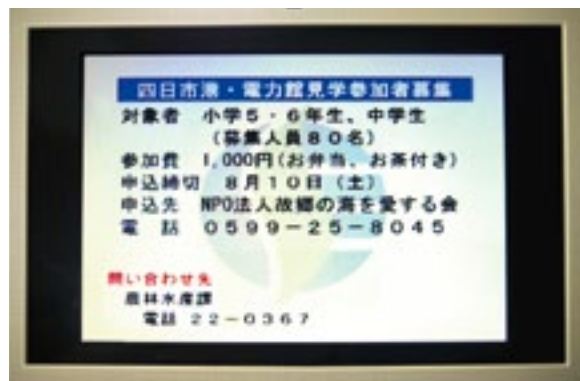
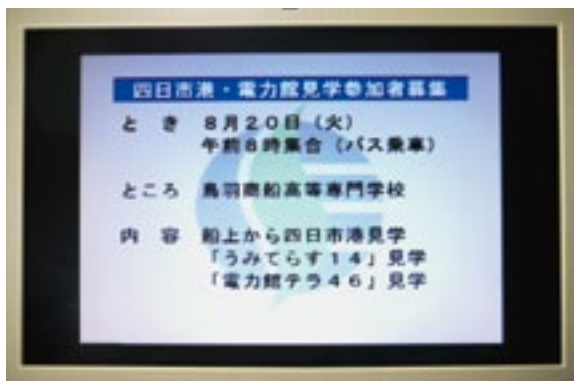


参加者の募集

各小中学校でポスターの掲示、子供達にリーフレットの配布をして頂き活動への募集を行いました。また、それ以外に、新聞社、iTVなどにも活動の募集記事を掲載して頂きました。



▲伊勢新聞に掲載



アイティービーの伊勢市行政チャンネルで紹介されました。

5. 活動の新聞記事など

活動記事

活動その①

県内 総合

船のかじ持ち「緊張した」

鳥羽丸乗って造船所見学

鳥羽丸乗って造船所見学。伊勢市立鳥羽小学校の児童が、鳥羽丸に乗って造船所を見学した。児童たちは、船のかじを持ち、緊張しながら見学した。

鳥羽丸に乗って造船所を見学した児童たち。船のかじを持ち、緊張しながら見学した。

鳥羽丸に乗って造船所を見学した児童たち。船のかじを持ち、緊張しながら見学した。

鳥羽丸に乗って造船所へ

伊勢志摩の小中生ら見学ツアー

鳥羽丸に乗って造船所を見学した児童たち。船のかじを持ち、緊張しながら見学した。

鳥羽丸に乗って造船所を見学した児童たち。船のかじを持ち、緊張しながら見学した。

◀伊勢新聞 県内版

▲中日新聞 伊勢志摩版

活動その②

発表

9団体

「ゆりかもめ」で

四日市港を見学

四日市港を見学した児童たち。船のかじを持ち、緊張しながら見学した。

四日市港を見学した児童たち。船のかじを持ち、緊張しながら見学した。

▲伊勢新聞 伊勢志摩東紀州版

6. アンケートの結果

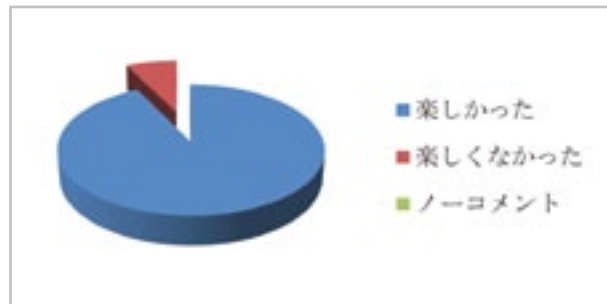
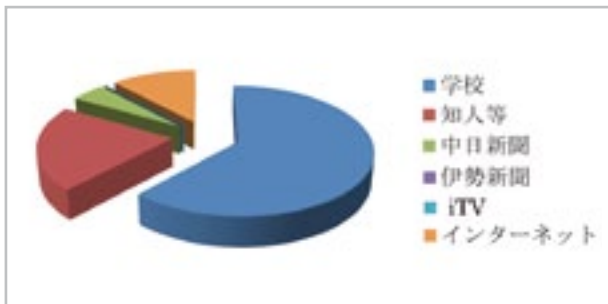
その① 練習船「鳥羽丸」で行く、造船所見学と故郷の海山川

- 1) どこから参加しましたか？ 2) 学年と性別

これらは「3. 活動報告」に含まれているので省略します。

- 3) イベントを何で知りましたか？

- 4) 今日、参加して楽しかったですか？



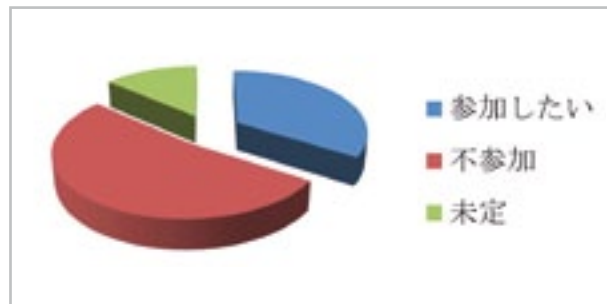
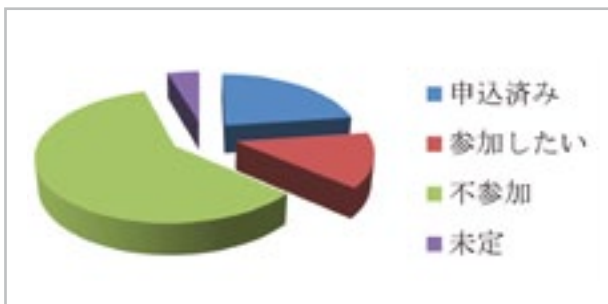
学校でイベントを知った子供が60%です。
インターネットで知った子供が5名いました。

ほとんどの子供が楽しかったと答えています。

■この後に計画されているイベントにも参加しますか？

- 5) その②

- 6) その③



(申し込み済み+参加したい) が約40%

(参加したい) が約34%

参加したいと回答した人が思ったより少なかったです。

■鳥羽商船高専について質問します (報告書の編集の都合上順序を入れ替えています)

10) 商船学校に来た事が有る	はい	16名	いいえ	28名
11) 将来入学を考えている	はい	11名	いいえ	26名
12) 商船学科の生徒は航海実習が有る	はい	8名	いいえ	35名
13) 高専ロボコンに毎年参加している	はい	7名	いいえ	36名
14) 校祖の近藤真琴は明治の有名な教育者である	はい	4名	いいえ	39名
15) 学校の初期は私立学校であった	はい	3名	いいえ	40名

参加した子供たち、将来鳥羽商船高専への入学を考えている人が11名いました。

学校の事については殆ど知らないようです。小学生が殆どなのでやむを得ない事かもしれません。

■今日のことを答えてください。

7) 何が楽しかった?	8) びっくり、えーと感じた事	9) ボランティアと何を話した?
船内の自由時間	船が大きい事	船の事
船上からの景色	ブリッジの入港時の緊迫さ	いいえ
船の中の見学	船が大きい事	船の事
船の中の見学	船が大きい事	船の事
色々と船の事を知った	特にない	船の事
船の機械の事	特にない	船の事
船に乗った事	船の仕組み	何処から来たか
船内の自由時間	船の通路が繋がっている事	食事の事
ブリッジのレーダー	エンジンが爆発する事	給食の事
ブリッジで舵を取った事	機関制御室のスイッチの多さ	船の事
	船にカメラがついていた事	船の事
船の中の見学	船上で風力発電	船の事
船の造り	トラブルや沈んだ時の備え	船の事
外の景色を見る事	階段が急だった	いいえ
海を見る事	階段が急だった	いいえ
船の中の見学	鳥羽商船学校が大きかった	いいえ
色んな機械が見れた	船の上がものすごく広がった	いいえ
外の景色がきれいだった	水深を音波で測っている	何処から来たか
色んな機械を見た事	船上のたくさんの機械	いいえ
ロープ結び	船の大きさ	ゲームの事
船の中の見学	船が揺れた事	わからない事
友達ができた事	重い船が良く浮くと感じた	笑い話
船に乗った事	厚生中学生が1人だった事	笑い話
造船所が見えた事	船の造り	笑い話
船に乗った事	階段が急だった	はい
船に乗った事	入港時の張りつめた空気	ブリッジの設備
ロープ結び	えー	はい
ロープワークの仕方	船の大きさ	はい
ロープワーク	船の大きさ	はい
船に乗った事、食事の事	いきなりヘルメットをかぶった事	船の事
		いろいろ
友達との話	色々な話	いろいろ
ロープ結び	えー	はい
船に乗っている時	船を止めるのに時間がかかった	いろいろ
さまざまな島を見た事	244トンの船が良く浮いている	学校の事
機械の説明を聞いている時	船が大きくて高かった	何処から来たか
船の中で探検した	船がどんどん進む事	いいえ
船の中の見学	階段が狭かった	いいえ
レーダーの画面を見た時	大きな船をつくる費用について	何処から来たか
ブリッジのレーダー	船が何分割もされている事	はい
造船所の見学	クレーンが大きかった	何処から来たか
船上から海を見た時	変なトラックや車があった	いろいろ
いろんな話が聞けた事		いいえ
船が速くてトビウオが見れた	船が大きかった	いろいろ

多くの参加者が船の事、海の事について、乗船して色々体験したようです。

■色々な事について 質問します。

16) 中東のエジプトのデモが当時あったので、エジプトについて聞いています。

ピラミッド・スフィンクス、スエズ運河、砂漠などを知っているようです。

その② 四日市港と川越火力発電所見学

参加者 85 名のうち 62 名の回答を集計しています。

1) どこから参加しましたか？

2) 学年と性別

これらは「3. 活動報告」に含まれているので省略します。

3) イベントを何で知りましたか？

4) 誰が参加を決めましたか？



イベントは学校と友達から知りました。イオンで知った子供もいます。
参加を決め得たのは半分以上が本人、次は親、そして友達となっています。

5) 朝、何時に家を出ましたか？

7時まで 26名 7時～8時 15名 8時～ 14名

集合時間は8時30分なので多くの子供達は7時ごろまでに家を出ていました。

6) 今日の事、何が楽しかったですか？

7) びっくりした事、え——と感じた事は？

ゆりかもめに乗って港を見学した事	19名	ゆりかもめの事	3名
電力館のいろいろ	24名	港の様子	19名
色々体験した事	3名	テラ46で学んだ事	12名
知らない人と話をしたり友達ができた事	3名	建物が高い事	2名

8) 他校の人やボランティアの人と話しましたか？

はい 42名 いいえ 20名

9) 鳥羽商船高専を知っていましたか？

はい 33名 いいえ 28名

知っていた人は船の学校と理解していたようです。

10) 港でどんな船を見ましたか？

コンテナ船、タンカー、LNG船が多く書かれていました。
加えて、消防艇、タグボート、自動車専用船と書かれていました。

11) 四日市港でコンビナートを見学しましたが、何を感じましたか？

大きい、気持ちいい、船(ゆりかもめ)が早いとか遅いとか、等々が書かれていました。

12) 四日市公害(四日市ぜんそく)を知っていますか？

はい 22名 いいえ 39名

知っていた人は、その原因が工場の排気ガスによるものと理解していました。
知らない人の方がずっと多かったですね。

13) 川越火力発電所の電気は何から作られますか？

LNGと正解したのは40名、石炭や石油、更には原子力と答えた参加者もいました。

14) それらは何処から運ばれてきますか？

ほとんどの正解者は「オーストラリア」「インドネシア」「カタール」からと知っていました。

15) LNGがクリーンエネルギーと呼ばれている理由は?

難しい問題だったようです。16名が硫黄分が少ないのと答えました。

16) 今日新しい友達が出来ましたか?

はい 25名 いいえ 35名

多くの参加者が新しい友達が出来たようです。うれしい事です。

17) 今後、このような活動があったら参加したいですか?

はい 56名 いいえ 1名

ほとんどの参加者が又参加したいと答えてくれました。うれしいです

その③ もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう 商船学校の歴史・船と海の話

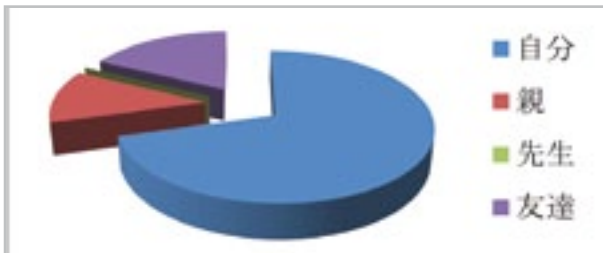
1) どこから参加しましたか?

2) 学年と性別

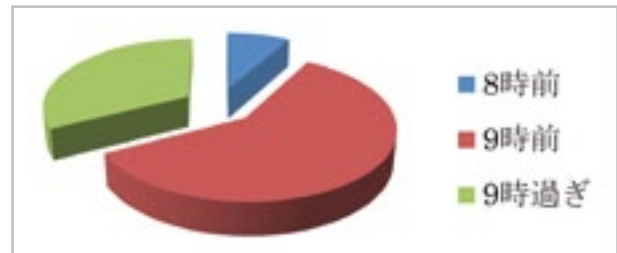
これらは「3. 活動報告」に含まれているので省略します。

3) 申し込みを決めたのは誰?

4) 朝何時に家を出ましたか?



結構自分で参加を決めています。



津市と志摩市の子供が7時台の出発
集合時間は10時でした。

5) 近藤真琴が明治時代に鳥羽商船を作った

知っていた 8名 知らなかった 42名

知っていたのは中学生3名と小学生5名。良く知っていましたね。

6) 勝海舟を知っている

はい 29名 いいえ 21名

勝海舟はさすがに多くの子供達が知っていました。

7) 「笑顔を作るコンピューター技術」で何を知りましたか? 楽しい話がありましたか?

高専プロコン自由部門で最優秀賞となった「すなケッチ」と書いた子が28名もいました。
その他にもロボットやスマホを使ったアプリの事などに興味がわいたようです。

8) ウミガメの産卵場所を知っていましたか?

はい 24名 いいえ 26名

三重県の多くの海岸でも産卵が確認されています。結構多くの子供が知っていました。

9) ウミガメは何を食べているでしょう?

ウミガメの種類で食べるものが違うそうですが、子供達の回答でクラゲと書いたのが30名、
海草が5名、ごみ(プラスチック含む)が7いました。餌としてはクラゲ、海草が正解です。
(反省: 設問がよくないです。こちらの意図としては「何を餌としているでしょう」でした。)

10) ウミガメは何歳位まで生きるでしょう?

回答で最も多かったのが100歳で12名、概ね50歳以上と書かれていました。

長生きだと知っているようです。

11) ウミガメと浦島太郎の話を知っていますか?

4名を除いて知っていました。

- 12) ロープワークは面白かったですか？ はい 43名 いいえ 5名
- 13) 「プロコン出展作品やロボコン参加ロボットを動かそう」では何が面白かったですか？
 高専プロコン全国大会に出場した「たこのハっちゃん」がボールを飛ばしたり、手をかざすことで機械が操作できる事など。
- 14) 「ディーゼルエンジンを動かそう」では、何を使ってエンジンをスタートさせましたか？
 始動ハンドルと答えたのが28名いました。空気と答えたのが1名、燃料と答えたのが9名。
 (反省：設問がよくなかったです。)
- 15) 今日の活動で何が一番楽しかったですか？
 すなケッチが23名、お昼のビンゴゲームが19名、ロボット操作が5名、ロープワークが3名。
 すなケッチの印象が強かったようです。ボランティアのオジサン達も同感です。
 「ビンゴゲームが楽しかった」は少し複雑な気持ちです。
- 16) 他校の人やボランティアの人と話しましたか？ はい 28名 いいえ 21名
 ボランティアと話はしていると思いますが、印象に残っていないようです。
 ボランティアはもっと子供と話をするように。
- 17) 今日、新しい友達が出来ましたか？ はい 15名 いいえ 33名
 結構多くの子供が新しく友達ができたと回答しています。嬉しいですね。
- 18) 鳥羽商船高専を知っていましたか？ はい 35名 いいえ 15名
 故郷の海を愛する会の活動に参加した子供達が多くいるので、商船学校を知っていた子供は多くいました。
- 19) 今後、このような活動が有ったら参加したい？ はい 46名 いいえ 4名
 いいえと回答した人は、この参加を自分で決めた人2名、親1名、友達1名でした。
- 20) 今後、どんな活動をやってもらいたいですか？
- ・ 今日のような事 7名
 - ・ 乗船体験、航海体験 11名
 - ・ 海を知る 2名
 - ・ 釣りをする 2名
 - ・ 物を作る 1名
 - ・ 楽しい事、面白い事 遊びたい事 色んな事 宝探し、ビンゴゲーム等 11名

アンケート追加

活動その③に参加した子供達の保護者にアンケートをお願いしました。

31名の方から回答を頂きました。

- ・この活動に初めて参加しましたか? はい 12名 いいえ 19名
- ・「故郷の海を愛する会」の名前を知っていた? はい 17名 いいえ 14名
- 活動に初めて参加の人は 知っていた人 2名 知らなかった人 10名
- 以前の活動に参加した事のある人は 知っていた人 15名 知らなかった人 4名
- ・会の役員・ボランティアは無償である。 はい 16名 いいえ 15名
- 活動に初めて参加の人は 知っていた人 2名 知らなかった人 10名
- 以前の活動に参加した事のある人は 知っていた人 14名 知らなかった人 5名
- ・安全・安心して活動するため、少人数の班に分け、ボランティアを少なくとも2名配置しています。御存知でしたか。 はい 11名 いいえ 20名
- 活動に初めて参加の人は 知っていた人 0名 知らなかった人 12名
- 以前の活動に参加した事のある人は 知っていた人 11名 知らなかった人 8名
- ・子供達が活動中に新しい友達を見つけられるよう、出来るだけ他校の子供達と一緒にしたいと思っていますが、保護者・本人が友達と一緒にの班になりたいとの希望が多くあります。どうすればよいと思いますか?
- ・他校の子供と一緒にする考えは賛成します。 5名
- ・保護者・本人の希望通りでなくてもよい。 1名
- ・友達と組んだ方がよい。2名程度なら同じ班に。 11名
- ・本人の自由にする。 1名
- ・募集の時にその旨通知する。 2名
- ・本人の希望を聞く。 2名
- ・くじ引きにする 1名
- 班の中に自分一人で参加、周りは知らない人ばかり、というのは難しいようですね。
- ・「故郷の海を愛する会」のブログで活動の募集・活動の様子を見る事が出来ます。ご存知でしたか? 3名の方がご存知でした。
- ・今後の活動で計画してほしい所、計画してほしい事は? 会に対する希望が有れば?
- ・会の認知度がかなり低いと思います。学習塾にも宣伝してはどうですか。全ての子よりも先ず少しでも関心がありそうな子から活動を始めてはどうでしょうか。
- ・やはり、船に乗せて頂いたのが一番楽しく学べた様子でした。
- ・子供達には初めての経験でとても楽しませて頂きました。
- ・商船ならではの活動をお願いします。
- ・伊良湖までの企画がすごく良かったです。他県に行ける、しかも船で。普段体験できないので、やっぱり船での企画が一番です。
- ・釣り
- ・何度か参加して子供が馴染んできたら、自分もボランティアに参加を考えてみます。初めは親にべったりになるにきまっているので。

7. その他の活動

◎イオン明和店にて広報・募集活動など

実施日時：2013年8月7日 09:00～17:00

目的：1. 「特定NPO法人 故郷の海を愛する会」とその活動を地域の人に知ってもらう事。
2. 活動その②の参加者募集。

会員8名がボランティアとして参加。イオン明和店のセントラルコートを無料で借用しました。



▲会場の様子



▲活動その②の参加者募集中の案内も



▲過去の活動の様子を写真パネルで紹介



▲活動への応募者

イオン明和店は三重県の南勢地区では最大の商業施設であり、映画館などもあり、多くの来店者がありました。活動当日は夏休みのウィークデイであり、母親＋子供（女の子が多かった）を多く見かけました。一日限りの活動でしたが、故郷の海を愛する会の会員が積極的に案内し、多くの人々に興味を持ってもらいました。

今回のような商業施設での広報活動は初めてでした。

故郷の海を愛する会の活動を知ってもらい、より多くの人々に参加してもらうには、非常に有効と思います。実際に活動その②への参加応募者が数名受付に来てくれました。

掲示の仕方、配布資料など、改善・追加して、また、同様の活動を実施したいと考えています。

◎鳥羽商船高専の海学祭で「近藤真琴パネル展」「故郷の海を愛する会の活動報告」

実施日時：2013年11月17日 10:00～15:00

- 目的： 1. 鳥羽商船学校の校祖である「近藤真琴」を知ってもらう事。
2. 「特定NPO法人故郷の海を愛する会」の活動を知ってもらう事。



▲近藤真琴パネル展



▲故郷の海を愛する会の紹介



▲会場と来場者の様子

鳥羽商船高専の海学祭に合わせ、百周年記念館を一般開放して頂き、「近藤真琴パネル展」「故郷の海を愛する会の活動報告」を行いました。100名を超える方々が来館し、熱心に見て行かれました。「近藤真琴パネル展」は数年前、東京の商船教育創始者展で使用したパネル等を再利用展示しました。「故郷の海を愛する会」では今年度の三回目の活動（12月14日）を紹介したところ、来館された中で10名程度がその活動への参加に興味を示され、実際に応募し、参加してくれました

8. 収支報告

活動計算書

平成25年5月11日から平成26年3月31日まで (仮決算1月20日)

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費 (¥1000 x 51)	51,000	51,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金 (個人)	557,000	
受取寄付金 (法人)	150,000	
資産受贈益		707,000
3. 受取助成金等		
受取民間助成金 (鳥羽商船同窓会)	200,000	
受取民間助成金 (鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部)	200,000	
受取民間助成金 (全日本船舶職員協会)	160,000	
受取民間助成金 (中小造船協会)	168,000	728,000
4. 事業収益		
第1回イベント参加費 (¥1000 x 44人)	44,000	
第2回イベント参加費 (¥1000 x 85人)	85,000	
第3回イベント参加費 (無料 x 51人)	0	129,000
5. その他収益		
受取利息	7	
雑収益	0	7
経常収益合計		1,615,007
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他の経費		
イベント事業費	340,365	
業務委託費	218,750	
諸謝金(講師・看護師・学生)	44,000	
募集経費	219,975	
印刷製本	220,000	
旅費交通費	335,800	
保険料	97,104	
雑費	0	
事業費計		1,475,994
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
租税公課	4,200	
交際費	19,500	
旅費交通費	23,500	
通信費運搬費	41,855	
消耗品	71,802	
支払手数料	6,895	
雑費	13,585	
その他経費合計		181,337
経常費用合計		1,657,331
当期正味財産増減額		-42,324
前期繰越正味財産額		54,000
次期繰越正味財産額		11,676

貸借対照表

平成26年3月31日現在 (仮決算1月20日)

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	52,676	
未収金	0	
流動資産合計		52,676
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	0	
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	0	
無形固定資産計	0	
(3) その他の資産		
その他の資産合計	0	
固定資産合計		0
資産合計		52,676
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	0	
前受会費	41,000	
前受助成金	0	
流動負債合計		41,000
2. 固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計		41,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		54,000
当期正味財産増減額		-42,324
正味財産合計		11,676
負債及び正味財産合計		52,676

9. ご寄付一覧

寄 付 金 (個人)			
氏 名	金 額	氏 名	金 額
松本 暢生	20,000	川口 心也	29,000
江頭 昭雄	5,000	杉田 正純	4,000
徳島 博	5,000	山下 文徳	10,000
佐藤 善喜	5,000	中野 正義	3,000
柘植 泰輔	2,000	金田 護	20,000
古川 昭一	13,000	小甲 和己	30,000
山神 慎之亮	10,000	小林 司	10,000
尾鷲 綱三	30,000	水野 正治	15,000
荒井 美喜三	10,000	井上 民規	2,000
桑嶋 收平	10,000	三井 健次	10,000
福岡 健彦	10,000	江崎 隆夫	5,000
菱田 司	10,000	菅沼 延之	50,000
松浦 肇	4,000	岩本 正直	20,000
大西 彰夫	20,000	千道 英雄	2,000
長谷川 雅昭	10,000	畑 辰幸	10,000
齋藤 正	10,000	畑内 康孝	30,000
武部 二三男	4,000	増島 忠弘	10,000
家田 和良	10,000	西川 保徳	5,000
井上 道彦	10,000	川村 真智子	1,000
中川 敏	20,000	大畑 伊知郎	3,000
三村 徳蔵	20,000	藤田 学校長	50,000
			557,000

寄 付 金 (団体)	
団 体 名	金 額
(株)中央印刷	10,000
(株)鳥羽ヤンマー	30,000
テクノマリン(株)	100,000
悠久商事(株)	10,000
	150,000

寄付金(個人) NPO認証取得前	
鴨志田 清敏	5,000
小林 司	10,000
坂崎 清	9,000
中川 敏	10,000
久我 正	10,000
青木 孝之	10,000
	54,000

助 成 金	
全日本船舶職員協会	160,000
日本中小型造船工業会	168,000
鳥羽商船同窓会	200,000
同 伊勢志摩支部	200,000
	728,000

注：バス代は工業会が直接業者に支払。

10. 2014年度活動計画

2014年度は活動の中身を充実させ、以下のように計画しています。第2回目、3回目については既に下見も行い、関係する他団体から活動に際しての協力も頂ける事となっています。

第1回イベント 練習船「鳥羽丸」で行く造船所見学 場所：伊勢湾及び津市。
鳥羽商船練習船「鳥羽丸」に乗船し、伊勢湾航海中は操船体験・船の設備、構造、機関等のお話・ロープワーク、等の体験学習。

津市JMU造船所の見学。募集人員50名+ボランティア。過去5回実施経験あり。

(活動に際しての協力：鳥羽商船高専並びにJMU) 7月下旬に予定

第2回イベント ヨットに乗って風と語ろう 場所：伊勢市大湊港内。

伊勢市大湊町ゴーリキマリンビレッジ内、「セイラビリティ」伊勢の協力と指導を得てアクセスディンギー(6艇)でヨット操船体験を行い海の魅力を知る。セイラビリティ伊勢はヨット指導に豊富な経験がある。募集人員40名+ボランティア。

(活動に際しての協力：セイラビリティ伊勢) 8月下旬に予定

第3回イベント 潮騒の孤島、神島の自然と伊良湖水道 場所：神島

鳥羽佐田浜港より連絡船で神島に上陸、ボランティアガイドによる神島の自然・歴史・文学・について学び観察する。神島灯台・信号所で海上保安庁OBの説明と伊良湖水道を望み船の安全航行について学ぶ。募集人員50名+ボランティア。

(活動に際しての協力：鳥羽ボランティアガイド、鳥羽海上保安部) 10月中旬に予定

第4回イベント 海学祭に参加し郷土の偉人近藤真琴の業績を学ぼう

場所：国立鳥羽商船高等専門学校、百周年記念館

国立鳥羽商船高等専門学校の海学祭(文化祭)に参加し、第1・2・3回イベントに参加した子供たちの写真コンテストを行う・同校の校祖近藤真琴の業績について学ぶ。募集人員50名+ボランティア。(活動に際しての協力：鳥羽商船高専)

11月中旬に予定

第5回イベント 水先案内人になって操船しよう 場所：国立鳥羽商船高等専門学校校内

国立鳥羽商船高等専門学校の校内で、現役水先案内人の講義を聞き、施設を借りて操船シュミレーターで模擬操船体験をする。他にコンピューター・プログラム・ロボットなどの講義を聞き・ロボコン大会出場ロボットの見学、大型機関の発停を体験する。募集人員50名+ボランティア。(活動に際しての協力：鳥羽商船高専)

12月下旬に予定

これらの活動を計画通りに進めるため、従来資金援助して頂いた日本中小型造船工業会、全日本船舶職員協会、鳥羽商船同窓会に加え、中部運輸局、日本海事センター、全日本海員組合、日本海事広報協会等にも活動支援を期待しています。更に、新たな会員の募集を行い合計100名程度としたいと考えています。

1 1. 主催者の感想・反省

地域の小中学生達に船の事、海の事を知ってもらおうと5年前から活動していますが、今年から「特定NPO法人故郷の海を愛する会」として三重県の認証を得て活動しています。

昨年度は活動開始当初に得られた日本財団の助成が無くなり、鳥羽商船同窓会や一般企業や個人からの寄付を得て活動しましたが、長くこの活動を継続するためには、もっと広く世間に知ってもらい、協力を得る必要が有ると考え、特定NPO法人化しました。

おかげ様で、日本中小型造船工業会、全日本船舶職員協会から資金援助を得る事が出来ました。

又、新たに会員の募集も行い、約50名の個人、団体から賛同して頂きました。

会費・寄付を頂き、資金的におおいに助かっています。更には活動に際してのボランティアとしても参加して頂いています。

感想とか反省など

1. 安全・安心確保

従来のように各班10名前後に分け、班毎に2～3名のボランティアを張り付けし、安全・安心確保に努めました。又、看護師を手配し、不測の事態に備えました。

活動その①、②に関しては、夏の活動でもあり、熱中病などにも注意し、帽子をかぶらせる事、十分な飲み物を用意する事に注意しました。

天候にも恵まれ、軽い船酔いの子供たちがいた程度で、けがもなく無事の終了が何よりでした。

2. 募集・応募状況

活動その①については前年度の募集開始がやや遅れ時間不十分と思われたので、今年度は7月初めには各市町の教育委員会に募集書類を届けました。しかし、子供たちへの募集資料の配布は十分時間が有ったと思いますが、なかなか応募が集まらず、最終的に46名応募、44名が参加となりました。伊勢神宮の白石持ち行事が7月末に行われ、それに木遣り等で参加する子供達が多くいたのが募集定員に達しなかった一つの理由と考えています。

活動その②の募集はその①と同時に行いましたが、こちらも当初の応募状況が思わしくありませんでした。少しでも応募者を増やそうと8月7日に中南勢地区では最大のショッピングモールであるイオン明和店で、故郷の海を愛する会の活動案内と活動その②の募集を行いました。

多くの人々が興味を持って見てくれました。その効果もあって応募者は85名となり、目標の80名を超える事が出来ました。

活動その③は今年度や昨年度の活動に参加した子供たちにユーメールとか電話で募集の声をかけました。最終的に目標を超える51名が参加となりました。

子供達へのアンケートの結果を見れば、学校に募集資料を配布する事は大きな効果が有ります。しかし、それだけではこちらが考える応募者は集まらないようです。

ケーブルテレビや新聞で活動の募集のニュースを流して頂く事、多くの人の集まるイオン等商業施設で募集活動をする事、市町の広報紙に募集案内記事を掲載してもらう事、その他のメディアに活動や募集記事を掲載してもらうこと等など、来年度は幅広く募集活動をしようと思います。

3. 活動内容

今年度の活動では多くの子供達がメモしたりカメラで写真を撮ったりしていました。従来はごくまれにメモする子供がいましたが、今年度は多くの子供達がしっかりと記録をメモや写真で残そうとしていました。喜ばしい事ですね。活動の様子を夏休みの研究課題として学校で発表した子供達もいました。

活動その①

鳥羽商船高専の協力を得て、練習船鳥羽丸で津市のJMU造船所に行きました。航海中は商船学校の先生・生徒から船に関する事を学びました。故郷の海や山も眺めました。少し船酔いした子供もいましたが、楽しみながら船や海の事を知ったと思います。

JMU造船所では大きな船の建造工程をバス車中から見る事が出来ました。2か所ほどバスから降りて直に建造中の船を見ましたが、その大きさに圧倒されていたようです。自分の目で見てその大きさを体感した事でしょう。

活動その②

四日市港管理組合の協力を得て、特別に「ゆりかもめ」に乗船させて頂き、船上から四日市港を見学する事が出来ました。地上高くにある「うみテラス14」から港を眺めるのも素晴らしかったのですが、船上からまじかに大きなコンテナ船や陸上に置かれた塩の山や多くのコンテナ等を見る事が出来ました。子供達も喜んでいました。

四日市港管理組合には「うみテラス14」の見学科も無料にして頂き、大変感謝しています。

「テラ46」では昼食の会場の手配、器具を使った丁寧な火力発電所の説明、子供達はおおいに勉強になりました。自由時間中のハイパーシアターやサミットスタジオ等でも楽しく学んだようですが、時間が短くて残念がっている子供が多くいました。

活動その②では子供達に四日市港と火力発電所についての問題を用意しました。子供達は正解を知ろうと「うみテラス14」の説明してくれた係の人や「電力館テラ46」の案内の女性にいろいろと質問をしていました。帰りのバスの中で全員で答え合わせをしました。いい勉強になった事と思います。

活動その③

鳥羽商船高専の校内で3つの講演と学校内の施設等の見学をしましたが、楽しんでくれたと思います。工業系学科のプロコンやロボコンで優秀成績だった作品を見て・触って、びっくりしていました。商船学科のエンジンの起動とかロープワークも楽しかったようです。昼食後、ビンゴゲームをして楽しみました。サンタクロースも突然現れ、会場は大盛り上がりでした。

4. 班分け

子供達のアンケートでも、「活動を通じて新しい友達が出来た」とあります。うれしいですね。私たちは子供達が初めて会った人と話をして、友達になる機会を作りたいと考えています。

5. その他

- ・ 2013年7月25日、他の団体の活動を参考にしようと、三重県海事広報協会の主催する「海の日」記念行事に「故郷の海を愛する会」から役員3名が見学のため参加しました。活動の募集は20組 x 40名 x 2か所（親子合計80名）で、参加者はJMU造船所見学と津競艇場でヨットとモーターボート体験をしました。
- ・ 9月19日役員3名が東京に出かけ、以下の団体に会の紹介と今後の協力をお願いしました。全日本船舶職員協会、日本船主協会、日本中小型造船工業会、日本海事広報協会、日本財団、全日本海員組合。
- ・ 10月3日役員など7名が鳥羽市の神島に出かけ、26年度活動の下見と打合せを行いました。
- ・ 10月12日役員など4名が伊勢市の大湊に出かけ、26年度活動の下見と打合せを行いました。
- ・ 19月21日役員3名が名古屋に出かけ、以下の団体・役所に会の紹介と今後の協力をお願いしました。
全日本海員組合名古屋支部、国土交通省中部運輸局海事振興部。
- ・ 12月13日役員2名が津市に出かけ、今後の活動助成金獲得の参考にするため、助成金セミナーに参加しました。

終わりに

資金提供・配布資料の提供など本活動に関し以下の団体、会社、学校にご協力をいただきました。ありがとうございました。

- ・ 日本中小型造船工業会
- ・ 全日本船舶職員協会
- ・ JMU株式会社（造船所）
- ・ 四日市港管理組合
- ・ 中部電力 電力館テラ46
- ・ 日本船主協会
- ・ 日本海事広報協会
- ・ 伊勢湾フェリー株式会社
- ・ 鳥羽商工会議所
- ・ 伊勢市・鳥羽市・志摩市・松阪市・明和町・玉城町・南伊勢町、各市町教育委員会、各小中学校
- ・ 鳥羽商船高等専門学校
- ・ 鳥羽商船同窓会、鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部

今後とも継続して同様の活動を行いたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

以上

（ 最終報告として作成 S.K ）

故郷の海を愛する会の案内

NPO法人「故郷の海を愛する会」の案内を作成しました。A4サイズで両面印刷です。
機会のあるたびに配布しています。（報告書用に合成処理）

海から始まる物語

私たちの地球は、およそ46億年前に太陽と太陽系の星とともに生まれました。
誕生から10億年位たち「原始の海」に最初の生命がやっ
と生まれ、酸素を作り出したのは海の中の生物たちです。
やがてその生物が進化し、陸上でも生きられるようになり
ました。やがて人間も生まれました。
生物は、海とは深くつながり生きています。
人間は豊かさや便利さのために、海の問題を巧みたり破
壊していないか？海を救えるのは私たち人間です。
海をよく知り、みんなで深く考えてみなくてはなりません。

特定NPO法人 故郷の海を愛する会は、
主に三重県内の小中学生を対象に活動を行います。

故郷の海を愛する心を育て、
素晴らしい日本と
日本の海を認識し
『希望と憧れ』の
気持ちを持ってほしい



鳥羽丸で船を取る

NPOとは、Non Profit Organization (ノンプロフィット・オーガニゼーション)
民間非営利団体で自主的に活動する営利を目的としない組織。

あゆみ 事業記録

2008年 任意団体 故郷の海を愛する会設立
2009年 日本財団の支援を受ける(2011年迄)
2010年 支援事業で、夏休み2・冬休み1事業を実施
2011年 支援事業で、夏休み2・冬休み1事業を実施
2012年 自主事業で、夏休み2・冬休み1事業を実施
2013年 特定NPO法人 故郷の海を愛する会設立
自主事業で、夏休み2・冬休み1事業を実施



鳥羽丸体験乗船



津市 JMU造船所ドック見学



飛鳥コンテナヤード見学



海の博物館でる漕ぎ体験



海上交通センター見学



伊良湖岬の自然観察



船上より四日市港見学



操船シミュレーター体験

2013/11/10-1



特定NPO法人
故郷の海を愛する会

法人住所 517-0011 三重県鳥羽市鳥羽三丁目31番37号
TEL 0599-25-8045 FAX 0599-25-8128

FURUSATONO UMIWO AISURUKAI



ご案内

特定NPO法人
故郷の海を愛する会



<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>

ちよと ボランティア (支援・協賛・寄付) NPO会員募集

「やりたいこと」が形になる「できること」が誰かの役に立つ。ボランティアの世界へ！

知恵や技能を生かし一人で出来ないことは誰かと一緒に輪を広げましょう！『故郷の海を愛する会』で活動しましょう。日々の楽しみ、自分の喜びのために。

■ イベントのスタッフ

事業事務 企画・準備スタッフ
事業実施日 随行スタッフ・随行看護師

■ NPO法人のスタッフ

法人広報 WEB発信・報告書
法人事務 会報発行・会員連絡

■ 活動資金等の援助と寄付

事業別に、配布資料などの支援
事業に対する、支援金や寄付金
NPO運営などに、全面的な支援や寄付金

入会申し込みは、別紙をご利用ください。

寄付については、事務局まで

郵便振替は、00830-9-183524 (手数料無料)

特定非営利活動法人 **故郷の海を愛する会**

法人住所 517-0011 三重県鳥羽市鳥羽三丁目31番37号

電話番号 TEL 0599-25-8045 FAX 0599-25-8128

会員募集

「定款」第3章 会員

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって法上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体
- (2) 賛助会員 この法人の事業を賛助するために入会した個人又は団体

会員種別	会費	内容
正会員 <input type="checkbox"/>	年会費 1,000円	・この法人の目的に賛同して入会し、運営に参加する個人又は団体 ・総会での決議権があります
賛助会員 <input type="checkbox"/>	年会費 なし	・この法人の目的に賛同して入会し、活動に協力する個人又は団体 ・総会での決議権なし

検索 故郷の海を愛する会

特定NPO法人 **故郷の海を愛する会**

<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>